

みんなでさんさに加わろう♪

歴代
ミスさんさ踊りに
インタビュー!

さんさ踊りで心を一つに 震災を乗り越え絆を深める

年齢に関係なく、誰もが参加し絆を深めることができるさんさ踊り。地域のにぎわいを創出するほか、住民同士の交流を促進する役割も担っています。今回は、2010ミスさんさ踊りの杉澤美奈実さんにお話しを伺ってきました。

「いつごろからさんさ踊りに参加されているのでしょうか？」
「もともと私の育った地域ではさんさ踊りの活動が盛んで、気付いたら自分も周囲の大人たちの真似をして踊っていました。踊りが自然と生活の中に溶け込んでいたんですね。本格的にパレードへ参加するようになったのは小学生のときで、人前で踊りを披露する楽しさを知り、毎年参加するようにになりました」

「さんさ踊りの魅力についてお聞かせください。」
「毎回、観客の方を笑顔にしたいという思いで参加しているのですが、その観客の方々の笑顔に私たちが踊り手の方が元氣付けられています。そうした心と心の触れ合いを感じられるのが、さんさ踊りの醍醐味の一つなのではないでしょうか。私がミスさんさ踊りとして活動していた時期はちょうど震災があったときで、他県から励ましの声を多くいただき、人の温かさに感動したのを覚えています。ミスさんさ踊りとして、応援いただいた方々の思いを県内被災地へ届けたいと強く感じました」

「第一回目の東北六魂祭にも参加されたそうですね。」
「震災の鎮魂と復興を祈って開催された、一番最初の東北六魂祭に出させていただきました。岩手・宮城・福島・山形・秋田・青森の人々が集いパレードを盛り上げ、東北が一つになったと感じられるイベントになったと思います。それから毎年各県庁所在地で順次開催され昨年一度終了したのですが、今年からは『東北絆まつり』と名称を改め続けられることになりました。震災から6年以上経ち復興が進みましたが、未だ課題が残る地域もあります。これからも祭りを通して東北の絆を深め、共に課題を乗り越えていければいいと思います」

「今後の展望をお願いします。」
「さんさ踊りは、太鼓・笛・踊りで一体感を感じられる魅力的なイベントです。今年で40回目を迎える伝統行事ですが、県内外問わず、まだ見たことがない方や、見たことはあっても踊ったことがないという方も多くおられます。今後さらにたくさんの方に会場が一つになる感動を味わっていただくため、引き続きさんさ踊りをPRしていきたいです」



2010ミスさんさ踊り 杉澤 美奈実さん

—あなたの街の解体屋さん—

岩手県知事許可(般-28)第20873号
岩手県許可第178490号



解体・とび・土工工事・産業廃棄物収集運搬業

株式会社 藤和興業

代表取締役 藤田 康裕

〒020-0652 岩手県滝沢市鶴飼洞畑92-8-A105
☎019(687)5117・FAX019(687)5118
E-mail/towa-kougyou_108@sea.plala.or.jp

◆鉄筋工事業 ◆土木工事業 ◆とび、土工工事業

岩手県知事許可(般-28)第9475号

株式会社 金澤鋼業

代表取締役 金澤 明

本社/盛岡市下田字石羽根99-76
☎019(683)2888・FAX(683)2991
第3工場/盛岡市下田字石羽根99-789